

第37回

入場
無料

いのち・愛・人権の

つどい

テーマ ヤングケアラー

徳井健太さんがヤングケアラーとして
過ごしたこども時代。
一体何を感じていた？



とく い けん た
平成ノブシコブシ 徳井 健太さん

僕、 ヤングケアラー でした。

※ヤングケアラーとは……本来大人が担うと想定されている家事や家族の
世話などを日常的に行っているこどものこと。

令和7年(2025)

9月23日(火・祝)
13:00～15:15

草津市立 草津クレアホール
大ホール (草津市野路6-15-11)

当日参加者の皆様に

抽選で徳井健太さんの
サイン色紙を10名様にプレゼント

当日同時開催

■ 人権啓発バンド「歩°歩°」による
ミニコンサート

～未来を奏でる希望のメロディ～
(「歩°歩°」の詳細は裏面参照)



■ ヤングケアラーについて考えるパネル展示会
(こどもソーシャルネットワークよりパネル借用)

申し込み不要

定員超過(650名)の場合は、
入場できない場合があります。

託児あります

事前申し込み必要

9月9日(火)までに人権センターまで

手話通訳、要約筆記あります

問合せ先

草津市立人権センター ぴーぷる

草津市大路二丁目1番35号 キラリエ草津3階

Tel 077-563-1177 Fax 077-563-7070 Eメール jinkence@city.kusatsu.lg.jp

共催

草津市人権擁護推進協議会／草津市／
草津市教育委員会／人権啓発活動 湖南・
湖西・甲賀地域ネットワーク協議会

徳井 健太さん

Profile

2000年に吉村崇とお笑いコンビ「平成ノブシコブシ」を結成。「ピカルの定理」などバラエティ番組を中心に活躍。最近では、芸人や番組を愛情たっぷりに考察する事で注目を集めています

講演内容

ヤングケアラーのこどもたちは、日本の中学生においては、約17人に1人いると言われています。そんなこどもたちのほとんどが、自分がヤングケアラーだという自覚がないと言います。

徳井健太さんもそんなこどもの一人でした。自身が“ヤングケアラー”だったと認識するのは、ずっと後芸人になってからの話です。

父親の単身赴任をきっかけに、母が精神疾患に。そんな母と幼い妹の世話をしながら、部活・勉強を両立させる日々。

そんな徳井さんの実体験に基づき、大人たちには何ができるのか。ヤングケアラーとして生きるこどもたちはどこに助けを求めたらいいのか。

明日からの人生を明るく生きるためのヒントになれば、という気持ちを込めて、徳井健太さんが自分の過去をすべてさらけ出してお話いたします。

プログラム

12:30 開場・受付開始

13:00 開会（開会行事）

13:10 「歩°歩°」 ミニコンサート

13:35 <休憩>

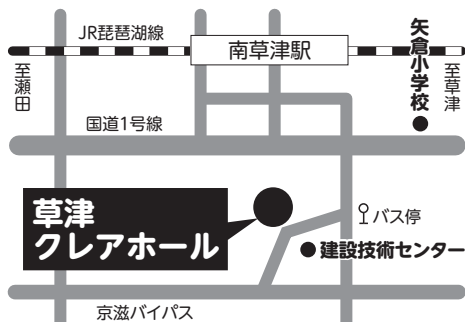
13:40 講演会 徳井健太さん
「僕、ヤングケアラーでした。」

15:15 閉会



昨年度会場の様子

MAP



臨時駐車場 建設技術センター・矢倉小学校

※駐車場に限りがありますので、出来る限り乗り合わせ、または公共交通機関でお越しください。

人権啓発バンド「歩°歩°」プロフィール

1999年に結成された朗読劇による人権啓発をする「たんぽぽ」という集団を母体として、その中のメンバーと、それまで音楽活動をしていた友人の男性5人が「歌と語りを通して人権啓発をしていこう」と2005年9月に結成。メンバー自身の体験や差別解消・人権尊重への思いからオリジナル曲を作成し、2005年9月9日の市立第六保育所での人権コンサートを皮切りに、県内外からの依頼を受けて活動を展開。

2012年からは、草津市同和教育啓発講師団としても活動を展開。また、2015年9月には、草津市の共催を得て、草津クレアホールで結成10周年記念公演を開催。今年2025年9月14日には結成20周年記念コンサートを草津アミカホールで開催。

市内はもとより県内各地、そして新潟県や岡山県、三重県など県外でも活躍し、これまでの公演回数は180回を超える。また、現在まで作成したオリジナル曲も25曲を数える。

